

ねれかて

ねばりづよい子、れいぎ正しい子、からだをきたえる子、てをつなぐ子

豊田市立平井小学校

校長だより

令和5年 5月19日

新入生も平井小学校の生活に慣れてきました

新入生が平井小学校に入学して1か月近く経ちました。学校生活の様々な場面で、小学校生活に少しずつ慣れてきている様子が見られます。給食時には、先生の話をよく聞いて自分の席で静かに待ち、順番に自分の給食を配ることができるようになりました。また、配膳時には**次の人のストローを準備した後に、自分の牛乳やストローを運ぶ姿**が見られるなど、級友に対する優しい心遣いができる子どもの姿が増えてきました。給食の係の子どもたちも配膳に慣れ、上手に食事を配ることができますようになっています。

登校の際には、校門で元気よくあいさつができる1年生の姿が見られるようになりました。子どもたちの元気のよいあいさつと笑顔に出会うと、今日もまたエネルギーをもらったなとうれしくなります。さて、どの学年の子どもたちも最初の緊張がほぐれて落ち着いて毎日を過ごしていますが、5月は疲れが出てくる時期でもあります。学校では、**できるようになったことを一つ一つ認めながら、子どもたちの成長に向けて力を尽くしたい**と考えています。保護者の皆様には、今後もお子さんご家庭での見守りや励ましをよろしくお願いします。



学習に取り組む子どもたち

2年生の国語の授業では、全員で**音読**を行っていました。音読は、**脳を活性化させたり文章の読解力を向上させたりする**などの効果があります。また、音読を行う際には文章を声に出して自分の耳で聞くという両方のことを同時に行うため、確かな読解力が得られます。

3年生の**算数の授業**では、わり算の問題を絵・図・式を使って表しながら、わり算の問題を解いていました。子どもの中には、問題を解く際に、教科書の**図を用いて丸で囲みながらじっくりと自分の考え方を確認している**姿が見られました。今後も自分の考えをしっかりとともち、友達の意見や先生の説明を聞くことにより**学習内容への理解が深まる授業づくり**に努めています。

